



平成 2 1 年 1 2 月 3 日
須坂市立森上小学校

PTA講演会より

11月20日(金)の低学年参観日に併せてPTA学級会長会主催で講演会がありました。講師は須坂園芸高校の中嶋寿夫先生で、須坂園芸高校で生徒指導主任を長いこと務められている先生です。須坂園芸高校といえば、ここ何年か全国レベルのコンクール等で優秀な賞を受賞したり、難しい資格に合格したりとその活躍が報道されています。

先生には、「高校の生徒指導の現場から、また、一人の親として・・・」と題してお話をいただきました。冒頭、教育基本法なども引き合いに出されて教育の目的について熱く語られました。

平成 18 年の法改正で追加された第十条(家庭教育)で、

父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

とあるように家庭教育が基盤です。

そして更に家庭に対しては、

- * 学校は社会に出るための勉学と修養(訓練)の場である。
- * そこには当然、ふさわしい態度と姿勢が求められる。
- * それをつくらせるのが親の責務である
.....社会の一員としての子どもを育てる意識

学校には、

- * 「学び」のためには、学ぶための環境と規律が必要。
- * 当然、それを守り、また周知するための校則やルールは必要である。
- * 生徒を管理し、「学び」の環境と規律を維持することは、教師の責務である。
.....教員は国民の教育に対する願いの代行者である。

というように、自らのこれまでの経験から厳しくも温かいご示唆をいただきました。

第4回避難訓練

今年4回目となる避難訓練を11月24日(火)に実施しました。休み時間の予告なしの訓練でしたが、短時間で校庭に避難することができました。

また、この日は防火扉をくぐる体験も行いました。防火扉は、万が一の火災の際に火災が伝わるのを最低限に留め、また避難経路を確保するために備えられています。人が通れるくぐり戸があり、その確認をしながら実際に通ってみました。



なかよし集会

人はみんなちがうけど、だれもがすばらしいものをもっています。「みんなちがって、みんないい。」童謡詩人、金子みすゞ（1903～1930）の「わたしと小鳥とすずと」の一節、これが今回の「みんなのしあわせ月間（人権月間）」<11月6日（金）～12月4日（金）>のメインテーマです。

右の写真は、敬組、愛組、2年智組の皆さんが協力して制作したものです。11月10日の集会で、人権月間のねらいを説明するのに使われ、現在は廊下に掲示されています。



「わたしと小鳥とすずと」 協力して作りました

この期間中、「あいさつ名人」という取り組みを行いました。1日に100人以上とあいさつした人をあいさつ名人に決め、あいさつの木に名前が登録されるというものです。



あいさつの木

また、最終週には、「なかよし集会」が低学年は11月30日（月）、高学年は12月2日（水）に行われ、仲間作りゲームやアイマスク体験を行いました。

じぶんとはちがうおともだちのいいところをたくさん見つけましょう。
そして、おともだちにやさしくできるような人になりたい。

おともだちにやさしくできる人は、おともだちからもやさしくされる人です。

<森上小学校で見られる花> その33 コムラサキシキブ（クマツヅラ科）

通常ムラサキシキブと呼ばれています。実は、ほんとうのムラサキシキブは日本各地の山野に自生していますが、実付きはあまりよくなく、鑑賞的には劣ります。



花の頃 7月初旬の姿

葉は散っても残る実

ここで紹介するのは、似ていますが実付きのよいコムラサキと呼ばれるものです。鉢植えなどで広く流通していて、庭などに植栽されているのはほとんどがこちらです。今の時期、葉も落ちて、小さな紫の実がびっしりと着いています。

本校では事務室前に植えられています。薄紫の小さな花を初夏に着けていますが、あまり目立ちませんでした。

（文責：校長 宮澤輝行）